

		チェック項目	はい %	どちらともい えない %	いいえ %	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室等スペースの関係で適切であるか。	80	20	0	広い療育スペースの他、個別養育や聴覚過敏の配慮等、活動や利用者に合わせて個室を用意し、安心して過ごせるようにしています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	90	10	0	配置基準に基づいて配置し、マンツーマン対応が必要な時は人数を増員するようにしています。
	③	事業所の施設などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	80	20	0	トイレの一部にしか手すりはありませんが、玄関から療育スペースの床は段差がなく、車いすやバギーでの移動が可能です。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標振り返り)に職員が広く参画しているか。	60	40	0	ミーティングや各会議等でPDCAサイクルについて、話し合いをする機会を設けています。各自毎に振り返シートにて、目標や業務の確認を行っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用してアンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し業務改善に繋げているか。	60	30	10	前回のアンケートで得たご意見を話し合い業務に活かせるようにしている。インスタの配信については、活用があまりできていなかったので、今後は配信の回数を増やしニーズにお応えできるようにします。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やHP等で公開しているか。	100	0	0	HP及び会報にも公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。	40	40	20	定期的に設備に対する専門家の点検を実施し、安全に過ごせるよう評価を仰いでいます。
	⑧	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか。	100	0	0	研修の案内を規模者には受講できる体制を整えています。研修後社内で報告して、全体の資質向上を図っています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	80	20	0	職員でモニタリングを行い、また保護者からのニーズや情報を基に、課題を把握し計画作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	80	20	0	事業所内で作成しているアセスメントシートを更新しながら活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80	20	0	集団活動の内容を職員で話し合い行っています。専門職のチームの中で個別の指導の情報共有がされています。
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	70	20	10	色々な活動に参加してもらえるよう、声をかけ興味関心を促し、活動の幅を広げられるようにつとめている。
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	70	20	10	休日や長期休暇はリトミックやプール、夏休みやクリスマス会などのイベントも企画しています。平日は短時間での活動を提供しています。
	⑭	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	70	30	0	集団活動や一人ひとりに応じたSTの個別活動を取り入れて、五領域に分けた支援計画を作っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担を確認する	--	--	--	平日はミーティングの時間を設け、学校休業日は個々の役割をスタッフ間で確認し、あっていきます

(15)	レバーハンドルの操作性の確認がどの程度可能か。 担について確認ができるか。	60	30	10	問題なし
------	--	----	----	----	------

チェック項目		はい %	どちらともい えない %	いいえ %	改善目標、工夫している点等
適切な支援の提供	⑯ 支援終了後には職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点などを共有しているか。	70	10	20	終了後には行えない為、翌日ミーティングを行い、共有しています。学校休校日は記録ノートなどを活用し、その日の様子などを振り返るようにしています。
	⑰ 日々の支援に関して正く記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	70	20	10	記録を残し、振り返って検証することに努めています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	70	20	10	定期的なモニタリンを行ったうえで見直しをしています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。	50	50	0	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせ、アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、支援計画を作っています。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	80	20	0	児発管、管理者、または療育現場で最も関わり、関係ができている職員が参画しています。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子供の下校時間の確認等)連絡調整(送迎時の対応・トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	70	30	0	送迎時に学校の先生から様子を聞き、情報を共有しています。保護者様にも協力して頂き下校時間の把握を行い、また学校の行事予定表を頂く事もあります。学校で関係者会議がある時は出席しています。
	㉒ 医療ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか。	100	0	0	医療ケアが必要なお子様には、主治医の指示書を当事業所へ提出していただきます。また、必要時には、保護者様に協力していただき連携を図るようにしております。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。	60	30	10	同一法人の児童発達支援事業所とは情報共有できていますが、他の関係機関とは体勢を整えていけるよう努めています。
	㉔ 学校を卒業し放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか。	40	60	0	移行支援協議会に参加しています。卒業後も希望に応じて情報の提供をしています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	30	70	0	連携会議に参加し情報を共有している。
児童発達支援の実施	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会があるか。	0	0	100	今年度は交流できません。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	60	40	0	毎月、自立支援協議会（療育部会）に参加するようにしています。
	㉘ 日頃から子供の状況を保護者と伝え合い子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	80	20	0	連絡帳や送迎時に状況交換できるようにしています。また電話で保護者様とお話しをすることもあります。
	㉙ 保護者の対応力向上を図る観点から保護者に対してペアレンット・トレーニング等	0	50	50	ペアレントトレーニングは実施できていないが、保護者に講習会の室内で情報提供している。
	㉚ 保護者の対応力向上を図る観点から保護者に対してペアレンット・トレーニング等	0	50	50	ペアレントトレーニングは実施できていないが、保護者に講習会の室内で情報提供している。

の支援を行っているか。

		チェック項目	はい %	どちらともい えない %	いいえ %	改善目標、工夫している点等
保護者への説明責任	(30)	運営規定・支援内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	70	30	0	契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に運営規定を提示しております。
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	80	20	0	相談があった場合は、迅速に対応するよう努めています。また医療や、子育て等の相談内容によっては、専門の職員が対応するようにしております。
	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等、保護者同士の連携を支援しているか。	20	40	40	現在、父母会等は行っておりませんが、保護者も参加できるイベントを企画し保護者同士で話をできる機会は設けました。。
	(33)	子供や保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80	20	0	相談があった場合は、迅速に対応するよう努めています。
	(34)	定期的に会報などを発行し活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	80	20	0	毎月通信を発行し、活動の概要や翌月の予定を伝えするようにしています。またインスタグラムの開設をしています。
	(35)	個人情報に十分注意しているか。	100	0	0	個人情報が記載された書類は、鍵付きの保管場所を作っています。通信やHPにアップする写真は、保護者の承諾を得て使用し、希望者には加工し顔が見えないようにしています。
	(36)	障害のある子供や保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮をしているか。	80	20	0	お子様や保護者様の状態に応じて、わかりやすくお伝えできるように努めています。相談員さんとも連携をとり、保護者さまへの対応を行っています。
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30	30	40	地域の方は招いていませんが、地域交流スペースや近隣の駐車場をお借りする等、事業所への理解と協力を得ることができました。
非常時等の対応	(38)	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	20	60	20	感染症に伴う利用マニュアルに基づき、感染拡大を防いでいます。
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練を行っているか。	0	50	50	避難訓練マニュアルを作っております。年に1度訓練を行うように努めます。
	(40)	虐待防止の為の職員への研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	0	虐待防止の研修に参加しています。また社内研修を行い、職員全体で話し合いをしています。委員会を立ち上げ月1回実施している。
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後デイサービス計画に記載しているか。	100	0	0	保護者様にしっかりと支援の説明を行い、身体拘束を行ふことはいませんが、自傷や他害を防ぐ為マンツーマンで対応しています。
		食物アレルギーのある子供について医師の指示書に基づく対応が実施できているか。				医師からの意見書は頂いていませんが、保護者様からしっかりと説明を聞き、アレルギー物質の

	(42) ノン日常生活に至るまでの対応が天井を感じているか。	100	0	0	ハラフカツヒ研修で聞か、ノベルティ一物貰う入っていない個別の献立を用意するようにしています。
(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	60	40	0	事例集は作成していませんが、事例に対し報告書はあげミーティング等で共有し、事故防止に努めています。